

ちば市議会だより

■発行/千葉市議会 ■編集/千葉市議会広報委員会 ■住所/〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 ■電話/043-245-5472 ■FAX/043-245-5565

■ホームページ/http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html

平成29年 9月1日 (2017年)

今回の議会

第1回定例会(2月) **第2回定例会(6月)**

第3回定例会(9月) 第4回定例会(12月)

今回の定例会は、 新たな議長の選出や市議会の 新体制が決まるなど内容が 盛りだくさん!

議会の流れを紹介します!

市議会では年4回、定例会を開催しています。

今年の第2回定例会では、議長・副議長の選挙や常任委員会等各種委員の選任、また市長選挙後初の議会であることから、 会派を代表した議員が市長の市政運営方針を問う代表質問などが行われました。

その流れをお知らせしますので、ぜひ詳細な記事もチェックしてください。

会 開

会期を決定し、市長の所 信表明後、議案を上程

→4面「市長所信表明」へ

正副議長選挙

議員の投票によって、正副議 長を選出

→3面「市議会リポート」へ



常任委員等各種委員の選任

5つの常任委員会及び特別委員会などの各委員 を選任

→2面・3面「市議会の新体制」へ

代表質問

市長選挙後最初の議会で行う代表 質問。会派の代表が熊谷市長3期 目の市政運営方針について質問

→6面・7面「代表質問」へ



常任委員会

5つの常任委員会が分野別に議 案などについて、詳しく審査

→4面「常任委員会審査から」へ



議案質疑

(+)

-般質問

市民に身近なテーマについて、市の方 針などを質問

➡5面「一般質問」へ



各常任委員会の委員長が審査結果を報告、 会派が賛否を表明後、議案を採決

- →3面「可決した主な議案」
- ➡5面「議案の議決結果」、「可決した意見書」 「請願・陳情の結果」へ

定例会が閉会しているときも、議員はさまざまな活動を行って 面では、閉会中の市議会議員の1日を紹介していますので、ぜひる

平成29年第2回定例会が、 6月26日から7月13日までの 18日間で開かれました。

主な会議日程 6/26[月] 本会議(開会) 6/27[火] 本会議(議長·副議長選挙) 6/28[水] 本会議(委員選任) 6/30[金] 本会議(議案質疑) 7/3[月] 常任委員会 7/ 5[水]・ 6[木] 本会議(代表質問) 7/ 7[金]~12[水] 本会議(一般質問) 7/13[木] 本会議(委員長報告·討論·採決)



第76代 議長 まつ ざき ふみ よし 小松﨑 文嘉



第73代 副議長 村尾 伊佐夫

就任あいさつ

就任にあたり、これから正副議長として、議会運営にどの ように取り組んでいくか、私たちの所信をお話しさせてい ただきます。

少子超高齢化・人口減少社会の到来により、福祉や医療 サービスのあり方、雇用の確保、地域防災力の強化など、地方自治体の果たすべき役割が ますます大きくなる中、二元代表制の一翼を担う議会に課せられる責務は大変重いもの となっております。

千葉市議会の良き伝統を守りながら、時代に求められた役割を果たし、市民の皆様の声 をしっかりと行政に届け、議会の質と力をさらに向上させてまいります。

本年3月に、これまでの議会改革の取り組みの成果をまとめた最高規範となるべき「千 葉市議会基本条例」を制定し、議会の基本理念や、議員の活動原則などを定め、議会の役 割を明確にいたしました。この条例に基づき、さらなる議会の機能強化と開かれた議会 の実現に向けて努力してまいります。

私たちは、市民の代表としてその負託と信頼に応え、市民福祉の充実と市政の発展に寄 与するため、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜ります よう、心からお願い申し上げます。

主な内容

2面 常任委員会委員の構成 3面 特別委員会・議会運営委員会・各種委員の構成/会派等構成/市議会リポート/可決した主な議案 4面 1市長所信表明/常任委員会審査から

議案の議決結果・会派別賛否状況/一般質問/可決した意見書/請願・陳情の結果 6面・7面 代表質問 8面 企画記事「市議会議員の一日を紹介します」

5議会の新体制決まる



会派名

自由民主党:自由民主党千葉市議会議員団

未来民進ちば:未来民進ちば

公 明 党:公明党千葉市議会議員団 日本共産党:日本共産党千葉市議会議員団

市民ネット:市民ネットワーク

常任委員会 定数10人

総務委員会

(所管事項) 危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など

委員長

副委員長





渡辺



森山 和博



田畑 直子







登



野本 若葉区・日本共産党①

雅夫 蛭田

忍 浩文 花見川区・自由民主党② 中央区・未来民進ちば② 稲毛区・市民ネット①

中央区・公明党②

白鳥 美浜区・未来民進ちば② 緑区・未来民進ちば③

緑区・自由民主党⑥

茂隆 美浜区・自由民主党®

克彦 橋本 美浜区・無所属⑩

保健消防委員会

(所管事項)保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など

委員長

副委員長





















洋 福永

植草 中央区・自由民主党② 花見川区・未来民進ちば②

和彦 段木

桜井 秀夫 稲毛区・公明党①

櫻井 花見川区・無所属②

村尾 伊佐夫 花見川区・公明党③

小松﨑 文嘉

智之 小川

茂手木 直忠

三瓶 輝枝 稲毛区・自由民主党③ 若葉区・自由民主党⑤ 稲毛区・自由民主党⑦ 花見川区・未来民進ちば⑥ 中央区・日本共産党⑨

環境経済委員会

(所管事項)市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など

委員長



麻生 紀雄

副委員長

青山 雅紀 若葉区・公明党①



松井 佳代子



吉田 直義



宇留間 又衛門 盛田 美浜区・市民ネット① 稲毛区・日本共産党① 中央区・自由民主党④ 花見川区・日本共産党③



眞弓



近藤 千鶴子 緑区・公明党⑤



和夫 緑区・自由民主党⑥



石橋 毅



佐々木 若葉区・自由民主党® 若葉区・未来民進ちば®

育未来委

(所管事項) 子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など

委員長

副委員長





亀井 琢磨 岩﨑 明子 阿部











なおふみ



かめい

(所管事項) まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

若葉区・自由民主党② 中央区・未来民進ちば② 若葉区・市民ネット① 稲毛区・自由民主党② 縁区・日本共産党① 中央区・未来民進ちば② 中央区・公明党③ 花見川区・自由民主党④ 稲毛区・未来民進ちば③ 花見川区・日本共産党⑤

委員長

川岸 俊洋

副委員長















茂樹



布施 貴艮

石川 弘 花見川区・公明党⑥ 花見川区・自由民主党① 美浜区・公明党②

稲毛区・未来民進ちば② 美浜区・日本共産党③ 美浜区・自由民主党③

中央区・無所属③

特別委員会

定数11人(◎は委員長、○は副委員長)

大都市制度・地方創生調査特別委員会

大都市の実態に対応した行財政制度の確立と地方分権の推進や、 地方創生について調査します。

□田畑 直子 ○桜井 秀夫 吉田 直義 秋葉 忠雄 麻生 紀雄 酒井 伸二 宇留間又衛門 山本 直史 石井 茂隆 米持 克彦 福永 洋

新庁舎整備調査特別委員会

市庁舎に求められる機能とあり方や、庁舎と敷地の一体的な有効活用等について調査します。

 ②森
 茂樹
 ○椛澤
 洋平
 青山
 雅紀
 阿部
 智

 森山
 和博
 岩井
 雅夫
 中島
 賢治
 段木
 和彦

 白鳥
 誠
 佐々木久昭
 野本
 信正

議会運営委員会

定数11人(◎は委員長、○は副委員長)

議事日程や議案、意見書、請願、陳情の取り扱いなど、議会の運 営に関することを協議します。

◎松坂 吉則 ○近藤千鶴子 亀井 琢磨 植草 毅 秋葉 忠雄 川合 隆史 麻生 紀雄 佐々木友樹 酒井 伸二 中村 公江 茂手木直忠

各種委員

知ってる!

監査委員 川合 隆史 宇留間又衛門

会派等構成 議員定数50人 (平成29年8月4日現在)

会 派 名	人数			役	員	及	び	構成	員			
自由民主党 计工工 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计 计	17	幹事長 松 坂	吉	則	副幹秋	事長葉	忠	雄	副幹岩	事長 井	雅	夫
		相談役 大石 宇田 田間 須持	直又都克	忠弘門夫彦	幹植小小石石	草﨑川井橋	文智茂	毅 嘉 之 隆 毅	会計川中森	部村島	博賢茂	智章治樹
未来民進ちば	12	幹事長 麻 生 会計幹事 亀 井 段 三 瓶	紀琢和輝	雄 磨彦枝	蛭田山	事長 畑本木	浩 直直久	文子史昭	副幹川三白布	事合 井鳥施	隆美和貴	史]香 誠良
公 明 党 千葉市議会議員団	8	幹事長 近 藤 桜 井 酒 井	千 套 伸	鳥子 夫 二	副幹伊 青川	事長藤 山岸	康 雅 俊	平 紀 洋	会計 村 森	幹事 尾 山	伊佐和	Ē夫 博
日本共産党 千葉市議会議員団	7	幹事長 福 永 吉 田 野 本	直信	洋 義 正	副斡 中 椛	事長村 澤	公洋	江 平	会計 盛 佐々	田	真友	弓樹
市民ネットワーク	3	幹事長 渡 辺		忍	会計 松	 井	佳	代子	岩	﨑	明	子
無 所 属	1	橋 本		登								
無所属	1	向 後	保	雄								
無 所 属	1	櫻井		崇								

~議会の代表!議長・副議長の選出方法や役割について紹介します。~

皆さん、市議会議員は市民による選挙で選ばれ ていることはご存じだと思いますが、議会を代表

する議長・副議長がどのように選ばれているのか、ご存じですか?

議長・副議長の選出方法は、地方自治法において、「普通地方公共団体の議会は、議員の中から議長及び副議長1人を選挙しなければならない。」と定められています。

千葉市議会では2年ごとに議員による選挙を行い、議長・副議長を選出しています。

また本市議会では、選出過程の透明性を高めるため、選挙の前に事前に申し出た議員が自分の考えなどを理解してもらうための所信表明を行う機会を設けています。

選挙の流れは、まず選挙を行う旨の宣言があった後、議場の出入り口を閉鎖し、投票する議員を確定します。その後、投票用紙の配布や投票箱の点検が行われ、各議員は、それぞれ配られた投票用紙に候補者名を1人記入して投票します。

投票の結果、得票数が最も多く、かつ、投票の4分の1以上の得票数を 得た議員が当選人となります。 選挙により選ばれた議長・副議長の役割ですが、議長は、議会を代表するとともに、議場の秩序を保ち、会議を順序よく進めたり、議会事務局職員を任命し、議会の事務を処理させたりします。

副議長は、議長が出張や病気等で不在のときや、辞職等で欠けたときに議長の代わりをします。



選挙の様子

可決した主な議案

各会派の賛否状況は5面をご覧ください。

補正予算:一般会計に7億7,400万円を追加

補正予算の主なものは、次のとおりです。

●待機児童解消に向けた民間保育園整備や

保育士等の給与改善及び宿舎借り上げ支援 …… 6億4,714万円

- ●加曽利貝塚の特別史跡指定に伴う経費 …… 3,550万円
- ●千葉都市モノレールの車両更新費用の助成 ····· (5億9,700万円)【平成30~31年度の債務負担行為[※]】

※債務負担行為…地方公共団体が次年度以降、将来にわたり債務を負担する行為

空家等対策協議会の設置と空地対策の強化

空き家等の適正管理に関する条例を改正し、空家等対策協議会の設置や空地への立入調査に関する規定を設けるなど、空家及び空地に関する対策を強化します。

(平成29年8月1日施行)

「学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定

学校給食費はこれまで、学校長が徴収・管理をしていましたが、新たに条例を定め、学校給食費の徴収・管理を市長が行うこと、また保護者等は食材料費相当額として学校給食費を支払うことなどを規定し、公会計により行うこととします。(平成30年4月1日施行)

公民館の管理に指定管理者制度を導入

公民館の設置管理条例を一部改正し、生涯 学習ニーズの多様化、従来型地域コミュニ ティの希薄化など社会情勢の変化に対応す るため、平成30年4月1日から全公民館(47 館)に指定管理者制度を導入し、非公募によ り指定する団体に管理を行わせるほか、改築 工事の完了に伴い、犢橋公民館の利用を平成 29年10月1日から再開します。



市長所信表明(要約)

このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまのご支援を賜り、再び市民の代表として市役所の運営を任せていただきました。初心を忘れず、一つひとつ着実に良い選択を積み上げていきたいと考えております。

この4年間の市政運営にあたり「ともに 進める」、「未来へつなぐ」、「誰も置き去り にしない社会」の3つの基本理念に基づき、 マニフェストとして示した政策の実現を 図ります。

一つに、「千葉市で生み育てて良かったと思える子育て支援・教育」です。さらなる保育所の整備と保育士の処遇改善、また、放課後子ども教室の充実など、多様な子育て支援・教育を充実していきます。

二つに、「誰も置き去りにしない、きめ細やかな福祉政策」です。生活に困窮されている方、貧困や児童虐待に苦しむ子どもたち、孤立を感じる高齢者、地域の孤立化などに目を向けた、きめ細かい福祉政策に取り組みます。

三つに、「2期8年で飛躍的に進化した

経済・産業施策のさらなる充実」です。国家 戦略特区を活用し、ドローン等の先端技術を 集積するとともに、民間と共同での産業 用地の整備を実施し、競争力のある産業集積 の形成を目指します。

四つに、「時代の変化に対応した新たな 千葉市の骨格を作る都市政策」です。千葉駅 東口再開発などを着実に推進し、活気ある 千葉都心の形成に取り組むとともに、幕張 新都心、蘇我副都心についても実情に合った 都市づくりを推進します。

五つに、「緑・里・農を活かした千葉市ならではの都市づくりと環境政策」です。富田さとにわ耕園などを活用し、里と農を活かした広域活性化を図ります。また、剪定枝の再資源化事業を全区実施し、さらなるリサイクル推進に取り組みます。

六つに、「東京オリンピック・パラリンピックを契機とした懐深い都市文化の確立」です。都市ボランティアの準備を進めるとともに、大会後もまちづくりを支える担い手として活躍できる体制を整備します。また、オリンピック・パラリンピックに向け千葉市ならではの文化振興を図ります。

七つに、「市民とともに進める地域のまちづくりと防災・防犯対策」です。区役所の

機能・権限を強化し、地域の特徴を活かしたまちづくりを推進します。また、防災の拠点として、効率的で災害に強い本庁舎の整備を推進します。

八つに、「財政健全化と行政改革により、 仕事のできる・市民の役に立つ市役所へ」で す。「脱・財政危機」宣言の解除を実現し、 未来への投資を着実に実施します。また、市民 に時間を返す行政改革を引き続き推進して いきます。

この間の成果、さらには3期目のマニフェストにおいても、議会からの提案などに基づくものも多く、ともに市政を発展させてきたパートナーと認識しております。今後も二元代表制の一翼を担う議会の皆さまとは真摯な意見交換を通じて、市政のさらなる発展に努めてまいりたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、私の所信の表明とさせていただきます。

常任委員会審査から

総務委員会(議案2件、陳情1件)

県補助金の補助率に対する 改善要望は

問 保育士確保を目的とした保育士等給 与改善事業に対する県補助金の補助 率は2分の1だが、政令指定都市の本市は4 分の1とされ格差がある。県に改善要望を したのか。

所管局であるこども未来局が窓口と なり、県とさまざまな交渉を行った が、補助率は4分の1となっている。

保健消防委員会(議案4件、請願1件、陳情1件)

平和公園に指定管理者制度を 導入する効果は

平和公園の管理業務について、指定 管理者制度を導入するとのことだ が、経費面を含め、市が考える効果は。

経費面では、全体事業費の1%程度の削減だが、高齢化などの進行により複雑化する墓地の承継相談や、広大な園内の植栽管理などの公園機能の充実、墓参者の園内移動支援など、多様化するニーズに対し、専門スタッフをそろえた指定管理者が対応することで、市民サービスを向上させたい。





平和公園

各常任委員会では、議案や請願・陳情を、細部にわたり審査しました。 質疑の一部をご紹介します。

環境経済委員会(議案1件、陳情1件)

実効性のある空家対策を

空家対策においては、本市の空家の特徴や課題を把握し、効果的な取り組みを行うべきだが、考えは。

本市では、建物の老朽化と同時に高齢化が進行していることにより、空家が増加しているという特徴がある。今後、空家等の実態を精査し、課題を把握した上で、条例改正により新たに設置する「空家等対策協議会」において、対応等を検討していくほか、庁内の体制強化を図っていき、しっかり取り組んでいきたい。



教育未来委員会(議案3件、陳情2件)

学校給食費の公会計化の効果は

学校給食費が公会計化されるが、その効果は。

理在、小学校等の給食費の徴収は、各学校が行っているが、平成30年度からの公会計化により、高等学校を除く全ての市立学校において市が徴収・管理を行うこととなる。これによって給食予算が安定して確保されるとともに、保護者からの徴収も、より公平に行われることとなる。また、教職員が行っていた徴収・督促を市が行うことで、教職員の負担が大幅に軽減され、教育環境の向上につながると考える。



都市建設委員会(議案3件、発議1件)

千葉都市モノレール株式会社の 経営改善に向けた取り組みは

干葉都市モノレール株式会社に対し、車両基地耐震補強と車両更新費用の助成を行うとのことだが、同社の経営改善に向けた、運行経費節減や新たな利用者の掘り起こしなどの取り組みは。

駅の空間活用の検討や、旅行業の免許取得により新たな需要を喚起することなどにより、収入増につなげていく。また、社員全員で経営改善に取り組むため、社内の提案制度を拡充するなど、意識改革にも努めることとしている。



千葉都市モノレール

議案の議決結果・会派別賛否状況			会派名							
			自	未	公	日	市	無所属		
○:			由民	未来民進ちば	明	本共産	民ネッ	櫻井議員	向後議員	橋本議員
議案名			主党	ちば	党	産党	 	譲員	譲員	譲員
補正予算案	専決処分(平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	原案承認	0	0	0	×	0	0	0	0
算案	平成29年度一般会計補正予算(第1号)/平成29年度病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0
条	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正/空き家等の適正管理に関する条例の全部改正/学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定		0	0	0	0	0	0	0	0
条例案	霊園設置管理条例の一部改正	原案可決	0	0	0	×	0	0	0	0
	公民館設置管理条例の一部改正		0	0	0	×	×	0	0	0
その他議案	損害賠償額の決定/議決事件の一部変更(液状化対策施設工事 (磯辺4丁目28-1工区) に係る工事請負契約・液状化対策施設工事 (磯辺4丁目28-2工区) に係る工事請負契約)	原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0
議案	監査委員の選任(2件)/農業委員会委員の任命 (17件)	原案同意	0	0	0	0	0	0	0	0
	市営住宅条例の一部改正	原案否決	×	×	×	0	×	×	×	×
議員	北朝鮮による拉致問題の早急な完全解決を求める意見書	原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0
議員提出議案	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	原案可決	0	0	0	×	0	0	0	0
	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定に基づく補助率等のかさ上げ 措置の継続を求める意見書/石垣島地方と分けて尖閣諸島単体での天気予報を実施するよう求め る意見書	原案可決	0	0	0	×	×	0		0

市政のここが 一般質問

25人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)をご覧ください。(スマートフォン等をお持ちの方は、QRコードからアクセスできます。)

)内は氏名と会派名※通告順

7月7日

- ●障がい者支援について
- ●緑区の明治大学誉田農場跡地での産業用地整備について
- ●熊谷市長3期目の重点課題について
- ■こどもの人権・福祉・教育について
- ●発達障がい支援について
- ●犯罪被害者等への支援について
- ●有害鳥獣対策について



(三須 和夫 自由民主党)

(亀井 琢磨 未来民進ちば)

(段木 和彦 未来民進ちば)

(椛澤 洋平 日本共産党)

(桜井 秀夫 公明党)

(橋本登 無所属)

- ●選挙について
 - ●東幕張土地区画整理事業について
 - ●避難場所としての公民館について
 - ●困難を抱える子ども・若者支援について
 - ●子どもの居場所について
 - ●核兵器廃絶への取り組みについて
 - ●千葉市のまちづくりについて



(三井 美和香 未来民進ちば)

(川村 博章 自由民主党)

(植草 毅 自由民主党)

(伊藤 康平 公明党)

(渡辺 忍 市民ネット)

(佐々木 友樹 日本共産党)

(盛田 眞弓 日本共産党)

7月11日

- ●図書館の休館日について
- ●磯辺茂呂町線について

(阿部 智 自由民主党)

(山本 直史 未来民進ちば)

●石炭を使用する(仮称)蘇我火力発電所建設計画について

●文化芸術振興について

(森山 和博 公明党)

●性暴力防止について●石炭火力発電所について

(中村 公江 日本共産党)

(岩﨑 明子 市民ネット)

(福永 洋 日本共産党)

7月12日

- ●地域資源としての花見川について
- ●学校のエアコンの早期導入について
- ●介護人材について
- ●新庁舎と公共施設の整備について
- ●地域資源を活用した観光戦略について



(櫻井 崇 無所属)

(米持 克彦 自由民主党)

(田畑 直子 未来民進ちば)

(三瓶 輝枝 未来民進ちば)

(小川 智之 自由民主党)

可決した意見書

議員提出議案として4件の意見書を審議し、可決しました。可決した意見書は、国会や関係行政機関に提出しました。

市議会ホームページの「会議日程・結果」の「可決された意見書・決議」に全文を掲載しています。

- ●北朝鮮による拉致問題の早急な完全解決を求める意見書
- ●ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ●「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定に基づく 補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書
- ●石垣島地方と分けて尖閣諸島単体での天気予報を実施するよう求める意見書

請願・陳情の結果

採択送付

●北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める 陳情

不採択

- ●障害者の介護・医療制度の改善を求める請願
- ●千葉市外国人学校地域交流事業補助金交付要綱に関する随信
- ●子どもと妊婦の受動喫煙を防止する取り組みを求める 陳情
- ●千葉市公民館への指定管理者制度導入に関する陳情



今定例会は、市長選挙後初の議会であるため、代表質問が行われました。7月5日(自由民主党千葉市議会議員団・未来民進ちば)、6日(公明党千葉市議会議員団・日本共産党千葉市議会議員団)の2日間にわたり、4会派の代表が熊谷市長3期目の市政運営方針について質問しました。詳しくは市議会ホームページの「議会中継(録画放映)」をご覧ください。(スマートフォン等をお持ちの方は、QRコードからアクセスできます。)

7月5日 自由民主党千葉市議会議員団 未来民進ちば



7月6日 公明党千葉市議会議員団 日本共産党千葉市議会議員団



自由民主党千葉市議会議員団

和集品的为

国への要望活動と学校施設へのエアコン設置に対する見解は

公立学校の老朽化対策と環境改善に 関する国費対象事業の多くが不採択 となったが、自民党会派による国へ の要望活動により、補正予算において、本市 にも約13億円の「学校施設環境改善」に関 する補助金が交付され、「外壁等の老朽化改 修」、「トイレ改修」及び「全中学校の音楽 室等へのエアコン設置」等の整備が前進し た。そこで、自民党会派が行った要望活動に 対する市長の見解と今後の学校施設へのエア コン設置の取り組みについて伺う。

平成28年度の国の補正予算については、自民党市議団からの要望活動もあり、結果として追加内示につながったと考えている。音楽室や特別支援学級へのエアコン設置については、中学校は今年

度中に完了、小学校は約4年間で設置する。普通教室への設置については、審議会から答申を得た後、予算の計画的配分を検討していく。



国への効果的な要望活動への取り組みは

本市の財政状況が依然として厳しい中、特定財源の確保は最重要課題の1つであるが、近年、国庫補助金を十分確保できていない状況である。本市で

は、国庫補助金の確保等のために、国会議員 や関連省庁に要望活動を行っているが、十分 な成果が得られていない。平成30年度の要 望書を見ると、削除された項目は1件のみで あり、ほとんどの項目が引き続きの要望と なっている。同じ要望を繰り返すだけでは大 きな成果を得られない。平成28年度当初予 算で学校施設環境改善交付金の内示率が3% と非常に厳しい内容である。自民党会派が、 本市の教育予算に対する要望書を提出した結 果、補正予算で満額13億円が措置されると いう成果を上げることができた。さらに、子ど も医療費の県補助金についても自民党会派と 県会議員と共同で知事に要望した結果、平成 23年度に補助率6分の1から4分の1への引 き上げを勝ち得たこともある。去る6月12日 には、自民党会派が、国会議員へ要望活動を 行っており、市民のために、本市の要望実現の ため、精力的に取り組んでいる。今後は、議会 との連携を強化して効果的な要望活動に取り 組んでいくべきと考えるが、見解は。

答

今後も、市議会各会派の協力を得 て、政令市会議等と要望内容の連携 を図るなど効果的な要望活動に努め

ていく。

待機児童数¹⁰⁰の情報発信方法と 入所待ち児童数¹⁰⁰の解消策は

平成29年4月で保育所に入れなかった子どもの数が、599人もいる状況である。入所待ち児童数を実質的な待機児童数として捉え、事実を正

しく公表していくことが必要であると考えるが、市民への発信方法についてと入所待ち児 童の解消策について伺う。



実際に入所待ち児童が発生している ことは真摯に受け止めている。入所 待ち児童の解消策については、保育

施設の整備を行うほか、保育士の処遇改善及 び負担軽減を進めていく。

レッドブル・エアレースや同様の 大規模イベントの受け入れの考えは

来場者数9万人と大盛況で終了したこの大会は、今年で3回目となった。エアレースは、議会や地元有志の努力により誘致に成功したイベントである。当初、極めて誘致に消極的だった市長もマニフェストに誘致成功や経済効果20億円と掲載し、考えも変わったようだが、来年、開催の打診があった場合は、どのような対応をするのか。また、同様の大規模なイベントを受け入れる考えがあるのか伺う。



世界的に知名度があり、高い集客効果があるこの大会開催は、本市にとって経済効果はもとより、本市が

目指す都市型ビーチとして活かす理想的な具体例となる。過去の開催を通じて報道媒体の関心が高まり、本市の魅力を国内外に効果的に発信することができ、大きな意義がある。開催の打診があれば、開催支援に積極的に取り組んでいく。同様のイベントについては、経済波及効果などを勘案し、判断していく。

日本共産党千葉市議会議員団

不気に関う

速やかに普通教室へのエアコン設置を

市内の小学校を視察したところ、朝の閉め切っていた教室の温度は40度にもなっているなどの説明を受けた。このような過酷な実態を市長は把握しているのか。また、このような状況で授業を行うことは人権問題であり、普通教室のエアコン設置に速やかに取り組むべきと考えるが、見解は。

夏日の学校現場への視察は行っていないが、放課後子ども教室の視察など機会を捉えて学校を訪問し、実態把握に努めている。また、普通教室へのエアコン設置は、学校教育審議会において、施設環境の整備を議論する中で審議することとしており、答申を受けた後、予算の計画的配分を検討していきたい。

支払可能な国民健康保険料に

国民健康保険料の納付相談窓口対応の手引きは、「未納保険料は、原則として一括払い」、「事前通告なしに差押えを行う」等、厳しい生活費の中で納付する資力のない被保険者の声を無視した内容となっている。相手の実情に寄り添った相談体制を取るべきと考えるが、見解は。また、支払可能な国民健康保険料への引き下げについて伺う。

保険料を納期内に完納していただくことは他の被保険者との公平性の観点から、重要なことと考えているが、納期内納付が難しい場合は、納付相談等により、世帯の収支状況等を把握した上で、個々に応じた対応をしている。また、納付資力がない場合は、処分停止を行う等、滞納者の実情に応じた措置を講じている。なお、保険料については、制度を持続可能なものとするため、必要な保険料の負担はやむを得ない

と考えるが、被保険者の負担が過度にならな

いよう配慮していく。

カジノを含む統合リゾートの誘致中止を

世論調査で69%が反対しているカジノは、ギャンブル依存症を増やし、青少年に悪影響を与える。また、カジノを含む統合リゾート(IR)の誘致は、海外のカジノ業界が、日本の富裕層をターゲットにした進出準備に協力することになるのではないか。幕張新都心への誘致を中止すべきであると考えるが、見解は。



海外のカジノ事業者が、国内の I R の動向に関心を寄せていることは認識しているが、 I R の誘致は、観光

及び地域経済の振興に寄与するものであり、 幕張新都心のさらなる活性化に向け、多様な 楽しみを提供する一つの手法として、調査・ 研究をしているところである。しかしなが ら、ギャンブル依存症への対応など課題もあ るため、依存症の実態把握や対策検討を行 いつつ、導入について慎重に検討してい

未来民進ちば

新たな競輪の実施に向けた検討状況は

現在の事業運営の包括委託先事業者 から、国際規格である250m走路 を有する多目的スポーツ施設を整備 し、国際ルールに基づく競走による競輪を実 施することでの事業存続の提案を受け、市は 新たな選択肢として検討を進めているとのこ とである。そこで、その検討状況と今後の方 向性について伺う。

民間活力の導入により、老朽化に伴 う施設の維持管理面の問題が解消さ れるとともに、オリンピック等と同 様の国際規格によるレースにより、新規ファ ン獲得による車券売上の確保・向上が見込ま れ、競輪事業の存続を可能とする手法になり 得ると認識している。現時点では競輪業界全 体の最終的な合意を得るまでに至っていない が、業界内で組織された「250KEIRI Nワーキンググループ」において具体的かつ 詳細な検討が進められている。今後は、諸条



る事業継続に軸足を置いて検討を進め、業界 全体の合意形成に向け、関係団体等との調 整・協議を進めるとともに、新たな競輪の事 業計画や施設整備などの詳細を検討してい

件も整いつつあることから、新たな競輪によ

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた取り組みは

本市において、オリンピック3競 技、パラリンピック4競技が行われ るが、会場都市として、多くの来訪 者の受け入れにふさわしい環境整備等の開催 準備を、加速して取り組んでいく必要があ る。そこで、仮設施設及び大会運営費の費用 負担と今後の取り組みについて伺う。

費用負担は、原理原則に立ち返り、 組織委員会が負担するとされ、組織 委員会が資金不足に陥った場合は、

東京都が補填し、東京都が補填しきれなかっ た場合は、最終的に国が補填することが確認 されたと考えている。今後は、大会組織委員 会に設置された地方会場調整室を最大限活用 していくとともに、東京都・組織委員会・ 国・関係自治体の四者で共同実施事業管理委 員会(仮称)を設置し、コスト管理と執行統 制の強化を図っていく。本市としてもコスト

意識を持ちつつ、千葉県と密に連携を図りな がら、関係機関と協議を進めていく。

学習指導要領改訂に向けた課題や 今後の展望は

今回の改訂による改善事項として、 外国語教育の充実、道徳教育の充 実、情報活用能力の育成等が示さ れ、教育課程や教育活動の改善・充実を図っ ていくことが必要とされている。そこで、来 年度からの移行期間に向けて、本市の課題と 今後の展望について伺う。



昨年度の「全国学力学習状況調査」 の分析結果によると、学習内容の理 解や知識の習得は概ね良好であり、

習得した知識等を活用して課題を解決する力 をさらに育んでいく必要があると捉えてい る。また、小学校3・4年生の「外国語活 動」、5・6年生の「外国語科」の実施に向 け、外国人講師の配置拡充とともにカリキュ ラムの編成や教員の英語指導力向上を目指し た研修の充実を推進していく。道徳教育は、

「考え、議論する道徳」の実践が求められて いることから、より一層の質的向上に取り組 んでいく。情報活用能力は、プログラミング 的思考の育成を図るため、ICT環境の着実 な整備を検討していく。

公明党千葉市議会議員団

千葉市美術館を含めた文化プログラム*** への取り組みは

千葉市美術館の拡充・整備に向けた |取り組みと、東京オリンピック・パ ラリンピックに向け、美術館の事業 を含めた文化プログラムへの取り組みについ て伺う。

美術館の拡充・整備については、中 央区役所等の移転等、詳細を検討中 であるが、東京オリンピック・パラ リンピック開催時には、拡充・整備が完了し た美術館で展覧会が開催できるよう取り組ん でいく。また、日本の伝統文化を発信するた め、「ジャポニスム」の要素を加えた大規模 な浮世絵展を開催できるよう準備を進めると ともに、多言語翻訳端末の活用など訪日外国 人向けの利用環境の整備などについて検討し ていく。美術館以外では、「車椅子アートプ ロジェクト」※4を今年度も内容を拡充して 実施する予定であり、それ以外の既存事業 も、文化プログラムとして新たに位置付け、 気運の醸成を図り、本市の文化芸術の一層の 振興につなげていきたい。

不妊症・不育症に対する施策の充実を

子育てをしたいと考え、大変な負担 をしている市民への支援の充実こそ 少子化対策の重要な取り組みと考え るが、学校での人権教育や性教育の取り組み を含め、不妊症・不育症に対する施策の充実 について伺う。

小中学校では、妊娠や出産に向けた 身体機能の成熟などを指導するとと もに、生命の尊厳や生命倫理につい

て学習するなど人権教育を推進していく。高 等学校では、妊娠過程の理解や不妊症など、 より具体的な健康課題を取り上げ、引き続き 指導に努める。不妊症の助成制度について は、初回助成額の増額や男性不妊も対象とす るなど、制度の拡充を図ったものの、いまだ 経済的負担が大きいことから、不育症も含め 新たな助成制度について検討していく。

今後の危機管理・防災対策への取り組みは

今後30年間に震度6弱以上の揺れに 見舞われる確率を示す「全国地震振動

本市は85%という高い確率が示され、防災の 備えを怠らずに進めていく必要がある。そこ で、今後の取り組みについて伺う。

防災・減災のためには、自助・共

助・公助の適切な役割分担に基づく 連携が重要である。公助の取り組み としては、今年度、迅速な復旧等を目的に国 土強靭化地域計画を策定するなど、着実に推 進しているが、共助・自助に関しては、自主 防災組織の活動率の低迷や、各家庭での備え が十分でないなどの課題を抱えている。今後 は、自助・共助の取り組みの活性化策につい て検討を進めるほか、市民の防災意識向上に 努めるとともに、連携・協力による災害に強



予測図」によると、昨年に続き今年も

 防災・減災のためには、自助・共助・公助の連携が重要

- ※1 待機児童数:国の待機児童算定基準に基づき、入所待ち児童数から下記の児童等を除いた数。
 - ○保育ルーム、先取りプロジェクト認定保育施設等を利用している児童。
 - ○他に入所可能な施設があるにも関わらず、保護者の都合で入所しない児童。
 - ※新定義の待機児童数では、保護者が育児休業中であるが復職の意思がある児童等を待機児童に含めている。
- ※2 入所待ち児童数:認可保育施設への入所を希望しながら、入所ができなかった児童の総数。
- ※3 文化プログラム:オリンピック憲章により、スポーツとともに開催が義務付けられているさまざまな文化イベント。東京オリンピック・パラリンピック では、東京のみならず地域の文化を体験してもらうための取り組みを全国各地で実施する。
- ※4 車椅子アートプロジェクト:東京オリンピック・パラリンピックに向け、文化芸術の新たな取り組みとして開始された車椅子をメインテーマとした本 市の重点プロジェクト。今年2月に、障害者と健常者が共に出演するファッションショーなどのイベントが開催された。



市議会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会は原則公開していますので、どなたでも傍聴できます。議会棟は市役所本庁舎の隣(国道側)です。受付は、議会棟1階の傍聴受付カウンターで行います。定員は本会議92人(先着順)、各委員会6~10人(受付開始時点で定員を超えている場合は抽選)です。

●平成29年第3回定例会は 9月5日から29日まで 開催する予定です。 ※



Twitterで市議会の 情報をお届けします

本会議・委員会の開催状況など のさまざまな情報をお届けしてい ます。どうぞご利用ください。



議員等による

寄附の禁止について

公職選挙法では、議員による、選挙区内での町内会行事などへの寄附が禁止されています。また、一般の人が議員に寄附を求めたり勧誘したりすることも禁止されていますので、ご理解とご協力をお願いします。

編 集 に あたって

今号では、意外と知られていない市議会議員の一日に関する企画記事を作成しました。企画記事を

ご覧いただいて少しでも議員や議会のことに興味を持っていただけたら幸いです。

今回から新たなメンバーで構成された広報委員会で編集を行いました。今後とも、議会活動をしっかり伝える充実した紙面づくりに努めてまいります。

千葉市議会広報委員会

| 委員長:石井 茂隆 | 副委員長:伊藤 康平 | 委 | 員:阿部 | 智/川合 隆史/麻生 紀雄/盛田 眞弓/渡辺 | 忍

問い合わせ 議会事務局調査課 ☎043(245)5472